

令和元年度 秋のまちづくり懇談会 内容

NO.	地区	発言要旨	担当課	令和元年度の対応、追加説明
北成地区では、2グループに分かれて懇談しています。				
1	北成①	<p>【意見】 ■空き家について まだ住めるような住宅だと感じていたが、家主の娘さんが地域と関わりがないために、気づかないうちに業者が購入し、住宅が壊されていた。せっかく住める住宅がもったいない。地域としては、地域にきちんと関わってくれる方であれば、入ってきたいという人にそういう住宅を紹介したい。行政に情報が入るのであれば、そこから地域の意向を聞いてくれる仕組みはあってもよい。</p>	総務企画課 健康福祉課	<p>【会場での回答】 健康福祉課の実施するアンケートに空き家の項目を追加して空き家予備軍バンクをつくることや、空き家データベースを地域に公開するなどの活用を検討いたします。</p> <p>【健康福祉課追記】 生活支援コーディネーターや包括支援センター等、地域とのかかわりの深い職員が現状の状態を把握することに努めます。また、空き家対策担当職員との情報共有を強化し、状態の良い物件をつなげる仕組みづくりの具体化を進めてまいります。</p>
2	北成①	<p>【提案】 ■春の市街地住民農業体験の受け入れ 北成に宿泊できる機能がほしい。ただ、食事の準備などは大変、特に田植え時期などは不可能。ホームステイは奥さんたちに抵抗感あるのでは。人手は足りていないので、他地区の奥さんに協力してもらおうのはどうか。</p>	産業振興課	<p>田植え時期の農業者の方々の負担軽減の一環として、昼食の用意など市街地住民の方などとの可能性を各地区公民館や各種ボランティア団体など地域の方々に協力を呼びかけ、具体策を検討してまいります。</p>